



中高年の就業機会を確保、社会参加と生活を支援。

一般社団法人プロンズ人財協会（周南市）

代表理事 藤本賢司 氏

ふじもと けんじ

職人の 流儀

Vol.29

人生100年時代を生きる中高年の就業や社会参加を確保し、充実した社会生活の支援目的に、2020年8月より発足した一般社団法人プロンズ人財協会代表理事の藤本賢司氏（1943年（昭和18年）12月5日生まれ）の76歳。徳山高校から中央大学経営学部に進み、被服会社勤工ワーカー（東京都）に就職。広島支社次席、福岡支社副支社長、京都支社長等を歴任。近年退職後に「藤本経営管理オフィス」を立ち上げる。

これまでに、徳山大学（経営学部）特

任教員、生産現場づくり学会理事、（一社）日本経営士会（山口県会長）、中国支那振興部・業務執行理事、NPO法人山口県アクティフシニア協会（AYUSA）会員、国際NPO人材マッチングバンク運営委員会、山口県開拓農業振興協議会会員。（一社）山口県会議員会議事など、各種団体の要職を務めてきた。

令和3年4月1日施行の「改正高齢者雇用安定法」に向けた研修された「プロンズ人財協会」の3つ方を率め、発展する活動を進めていく。

【知識】長い人生で培った、知識豊富なプロンズ人財。

【属性】老舗な経験で磨かれた、感性豊かなプロンズ人財。

【信頼】社会で貢献した情熱と経験豊富な信頼のプロンズ人財。

年齢や体力、体力など人材の特質を活かした柔軟な働き方を提案。生産学習カリカント教育の実践や安全教育などの男児教育の観点も重視する。各種ボランティア活動、専門知識を活かした支援・指導など社会貢献活動に力を注ぐ。

一般社団法人プロンズ人財協会の藤本氏によると、「高齢者雇用安定法の改正で、企業は雇用の枠を越え、高齢者の社会参画への支援を実現している。人生100の時代の今、働く意欲のある高齢者も多い。様々な分野で培ってきた技術やノウハウも活かせる。高齢者が活躍できる環境整備に取り組んでいかたい」と。